

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	蒲生四丁目こにこツリーハウス		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年2月3日		～ 2025年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	在籍職員は保育士・社会福祉士・児童指導員等の資格所保有	利用児・保護者が感じている困り事や課題をしっかりと受け止め、情報を職員で共有し1人ひとりに合わせた療育の提供	利用児の在籍する園との情報共有や連携、保護者との関係を深め利用児により良い支援が行えるようにしていく。
2	多方面の職歴を活かした、多角的な目線で利用児への療育アプローチ	個々の得意を引き出し、スモールステップで利用児のペースに合わせ苦手分野の活動も楽しみながら取り組めるようにしている。	日々変わる課題やニーズに速やかに対応できる、柔軟な発想と関係者との密な連携を続けていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との繋がり、保護者同士が繋がる場の設定	開所もないため、地域等繋がりがまだ構築出来ていない。	利用児のみならず保護者や地域の方も巻き込んだ、参加型の行事の開催を計画し実行する。
2	保護者同士が繋がるイベントの開催		年間計画を立て周知し、参加して頂けるように複数回実施していく。
3			